



担い手通信



JA bank Mix

Topic

今月の話題

コンクリート面の農地扱い 通常国会で法改正 政府・与党

政 府・与党は11月7日、農業用ハウス内の地面などを全面コンクリート張りにした場合も農地扱いにするため、来年の通常国会で関連法を改正する方針を明らかにしました。非農地扱いとなり税負担が増す現状を見直し、地面はコンクリート張りにして、高設棚で養液栽培するといった農家の経営展開を後押しします。今後、新制度の細部を詰めますが、農業以外への利用を確実に防ぐ仕組みとすることが不可欠となります。

11月7日に自民党が開いた農業基本政策検討委員会で、同委員会の宮腰光寛参与が、農地法などの改正案を来年の通常国会に提出する考えを示しました。

現状は、農業用ハウス等を設置し、地面を全面コンクリート張りにする場合は、非農地扱いとなり、固定資産税が大幅に上がる他、相

続税などの納税猶予も適用対象外となります。こうした、土地を農業生産に活用したくても、税負担が増すため踏み出しにくい状況は、農地法が定める「農地の農業上の効率的な利用を確保する」との目的に合致しない面があるとして、見直します。

一方、農地法では、農地を「耕作の目的に供される土

地」と定めます。そのため農水省は今後、コンクリートを簡易に撤去でき、耕作可能な状態に戻せる場合など、農地扱いにする対象の明確化を図ります。畜舎のためにコンクリート張りをする場合は、耕作目的ではないため対象としない方針です。既に農地転用して、コンクリート張りになっている農家らの存在も踏まえ、いつから農地扱いの対象にするのかも詰めます。

地面をコンクリート張りにする、農業目的外の利用も可能になることから、農業委員会がコンクリート施工の前後で、適正に利用されているかどうかを確かめる仕組みも検討します。

数字でみえる 三重県の農と食

三重県内の集落営農数

304

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

東海農政局「東海3県の集落営農」によると、集落を単位として生産を共同で取り組む集落営農の数は三重県で304(2017年2月1日現在)。この内、法人の集落営農数は69と全体の22%を占めています。非法人の集落営農数が減少する一方、法人の集落数は前年から7増加するなど増加傾向です。



JAいがほくぶ

組合員講座が始動 協同組合、JA考える

JAいがほくぶは2017年度からの新しい取り組みとして、「組合員講座」を開く。各総合支店管内で選ばれた組合員とその後継者21人が対象。全5回で、うち1回は公開講座とする。第1回は10月下旬、伊賀市の本店で開いた。北川俊一組合長は、開講の趣旨について「協同組合の目的と役割、暮らしに役立つ情報などに見聞を広め、今後のJAを考えてもらうために企画した」と語った。第1回は「農産物の旬を科学する」と題し、三重大学の西村訓弘副学長が講義。旬の農産物が持つ抗酸化力を挙げ「食べ物本来の力を理解して価値を認め、適正な価格で購入して食べることが重要。そのことが農家の収入に結びつく」と訴えた。公開講座は12月9日、「伊賀を知る」をテーマに開く。(2017/11/11 ワイド1 東海 静岡・三重)

JA全農みえ

「2017年度JAグループ農業機械検定」県内農機担当者8人受験

「2017年度JAグループ農業機械検定」の学科試験が11月14日、全国一斉で行われた。県内では津市のJA三重健保会館を会場に、JA農機担当者8人(1級・2級各4人)が受験した。検定は、実際の修理整備に必要なメーカー固有の機構・新技術や納品・安全指導など、業務に密着した内容を取り入れている。今回の学科試験の合格者は、来年2月に行われる実技試験に臨む。(2017/11/18 県版三重)

三重県

奥野JA全中前会長ら表彰 三重・産業功労者

三重県は11月1日、津市で2017年度産業功労者表彰式を開き、奥野長衛JA全中前会長ら7人を表彰した。その他に、地域農業の振興に貢献したとして、JA鳥羽志摩干し芋「きんこ」生産者グループ代表の森川まさるさんが表彰された。奥野前会長はJA伊勢組合長・会長として、新規就農者や定年退職者の就農支援を積極的に行い、担い手づくりに貢献。また、女性組合員の加入促進と女性理事を積極的に登用し、男女共同参画社会の推進に寄与した。奥野前会長は「今回の農業部門から2人が表彰され、農業に焦点を当ててもらいうれしく思う」と話した。(2017/11/2 ワイド1 東海)

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

香酸かんきつ「新姫」果汁中のノビレチン 圧搾搾汁の圧力が高いほど含有量増加

香

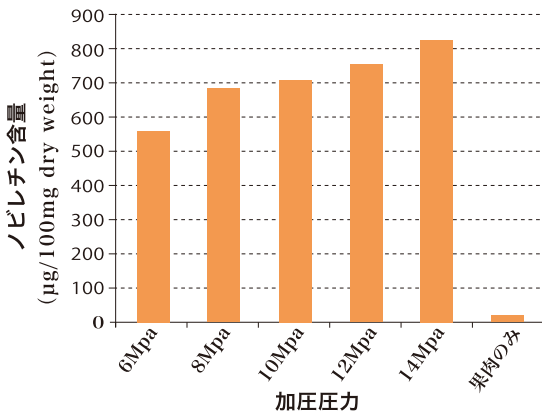
酸かんきつ「新姫」を果汁にするため皮ごと圧搾搾汁する際、圧力が高いほど、機能性成分であるノビレチンが多く含まれることを、三重県農業研究所が明らかにしました。ノビレチンは抗ガン作用や血圧上昇抑制などの効果が報告されている成分で、「新姫」を使った機能性強化果汁製品の開発について期待が高まっています。

実験では、市販の圧搾搾

汁器を使い、「新姫」を皮ごと搾汁しました。設定可能な最大圧力の14メガパスカルで搾汁した場合の果汁中のノビレチンの含有量が最も多く、糖度やクエン酸含有量は変わりませんでした。

また、果肉のみの果汁よりも、皮ごと使った果汁の方がノビレチンの量が多くなり、果汁色は果肉のみの果汁より、赤味が少なくな

加圧圧力の違いが果汁のノビレチン含量に及ぼす影響



お問い合わせ先 紀南果樹研究室 紀南果樹研究課 ☎05979-2-0008

農業を営む すべての方に

今ならJAバンク利子補給制度により、お借入から当初3年間は最大年1%の利子補給が受けられます。

農業経営資金

すべての農業者の 実りある未来をサポートします。

- トラクターなど農業用機械の購入資金
- 栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
- その他農業経営に必要な資金

明日の農業を担うみなさまへ JAバンクは地域農業を応援します!

詳しくは、お近くのJA/バンク窓口までお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

平成29年11月現在



【金利情報】平成29年11月20日現在

農業経営資金

変動金利 年**1.00%**

固定金利 年**1.50~2.00%**

※上記の借入利率は、代表的な利率であり、JAによって異なる場合があります。適用利率等の詳細はお近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

スーパーS資金

年**1.5%** (変動金利)